

SATO, T. (2017) - bibsugiura (2020 年 07 月 11 日 18 時 23 分 00 秒)

SATO, T. (2017). Measuring Vocabulary Size of Japanese Junior High School Students: Cross-Sectional and Longitudinal Viewpoints. JLTA Journal, 20, 90-106.

---

弘前大学の附属中学校 1 年生と 2 年生 (7 月だけは 3 年生も) 7 月と 12 月に、語彙サイズテスト (400 語、800 語、1200 語の 3 レベル) を実施。学年別とともに、およそ半年で、それぞれのレベルの語彙サイズが、どのように変化するかを観察。語彙サイズテストは Sato (2016) を使用。

7 月の段階で、1 年生約 795 語、2 年生約 1025 語、3 年生約 1071 語。1 年生も 2 年生も 12 月の方がテストのスコアは上がっている (推定語数未記載?)。

1200 語レベルまでしか測定できなかったのも、天井効果が出たと思われる。

対象の中学生は全員小学校 1 年生から英語を学んでいる。

項目弁別力の低い (易しすぎる) 語彙項目の多くは借用語。

日本の中学生の「英語力」「語彙力」はどのくらいなのか、というような基礎的なデータ自体がない、測る方法がない、という日本の英語教育研究の現状を改善しようというとても意欲的な研究。

こういう研究を広くしっかりと行うべきだと思います。